配布プリントの修正¹

2007年12月04日(火)

以下、いずれも同じ誤りの訂正です。

1. 「「離散数学」講義準備資料(続き pp.13-28)」(2007/10/17に配布した資料)
16ページの補題 2.15 の直前の式：
2. 「離散数学演習(論理と数学的帰納法)」(2007/11/21に配布した資料)
6ページの式(12)：

(誤)・(正)内容:

誤：

$$p^{-t} = \begin{cases} \neg p, & t = F \text{ のとき;} \\ p, & t = F \text{ のとき} \end{cases}$$

正：

$$p^{-t} = \begin{cases} \neg p, & t = T \text{ のとき;} \\ p, & t = F \text{ のとき} \end{cases}$$

---

¹法政大学情報科学部コンピュータ科学科, デジタルメディア学科, 2007年度秋「離散数学」
栗原正純, 電気通信大学情報通信工学科, kuri@ice.uec.ac.jp

(2007/12/4/15:22)

(46:/usr/home/kuri/doc/tex/dismath/)